

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月14日

千葉市長 神谷 俊一 殿



提出者

住 所 千葉市花見川区三角町178番地

氏 名 立山工業株式会社

代表取締役社長 朝倉 猛

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 043-259-0378

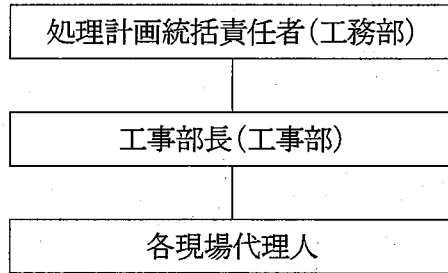
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	立山工業株式会社
事業場の所在地	千葉市花見川区三角町178番地
計画期間	令和6年 4月 1日 ～ 令和7年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：建設業 中分類：総合工事業 小分類：一般土木建築工事業
②事業の規模	前年度の元請完成工事高 351,298,200円
③従業員数	正社員19人 作業員9人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	事業場 がれき類 アスファルト・コンクリートがら コンクリートがら 木くず 廃プラスチック類 金属くず 委託処理 (中間処理) 再生

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） 公共工事による排出のため、排出量が定められている。		
② 計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 各工事のリサイクル計画に基づき、適正に処理を行う。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 種類ごとに分別を実施している。
------	---

② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引き続き、種類ごとに分別を行う。
------	---

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実績なし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実績なし。		
②計画	【目標】		

	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実績なし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t

		再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
		(これまでに実施した取組) 公共工事による排出のため、リサイクル計画に基づき 指定の処理業者へ委託している。		

(第5面)

② 計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 各工事のリサイクル計画に基づき 指定の処理業者へ委託する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

と。

- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
① 現	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	コンクリートがら	汚泥＋廃アルカリ混合物	汚泥	木くず	濁水	
	排出量	3308.5t	1506t	829.5t	4.103t	0.551t	106.15t	0.2t	
② 計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	コンクリートがら	汚泥＋廃アルカリ混合物	汚泥	木くず	濁水	
	排出量	3300t	1500t	820t	4t	0.5t	106t	0.1t	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
① 現状	【前年度（年度）実績】								
	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
② 計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
① 現状	【前年度（年度）実績】								
	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
② 計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
① 現状	【前年度（年度）実績】								
	産業廃棄物の種類								
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
② 計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類								
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

汚泥・廃アルカリ↑
R1.6.26 TEC

↑処理型汚泥

【前年度（ 年度）実績】								
①現状	産業廃棄物の種類							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量							
【目標】								
②計画	産業廃棄物の種類							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量							
産業廃棄物の処理の委託に関する事項								
【前年度（令和5年度）実績】								
①現状	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	コンクリートがら	汚泥＋廃アルカリ混合物	汚泥	木くず	濁水
	全処理委託量	3308.5t	1506t	829.5t	4.103t	0.551t	106.15t	0.2t
	優良認定処理業者への処理委託量							
	再生利用業者への処理委託量	3308.5t	1506t	829.5t	4.103t	0.551t	106.15t	0.2t
	認定熱回収業者への処理委託量							
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量							
【目標】								
②計画	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	コンクリートがら	汚泥＋廃アルカリ混合物	汚泥	木くず	濁水
	全処理委託量	3300t	1500t	820t	4t	0.5t	106t	0.1t
	優良認定処理業者への処理委託量							
	再生利用業者への処理委託量	3300t	1500t	820t	4t	0.5t	106t	0.1t
	認定熱回収業者への処理委託量							

[illegible]

